

神戸電子専門学校 2019年度シラバス

■科目基本情報

科目名	作編曲実習	科目コード	9400
シラバスコード	196B5B-9400		
授業時数/週	3時間/週		
開講年次・学期	2年次・通期		
必修/選択区分	選択必修		
担当教員	柘田咲子		
教員の実務経験			
職業実践専門課程 備考		連携企業等	

■科目詳細情報

授業概要	作曲や編曲をするために必要な、音楽理論のより深い知識を身につけます。基本のコード進行に加え様々なコード進行法について考えていきます。またコードのボイス方法を使ったアレンジの仕方や、作曲法を使ったメロディーの作り方についても実習します。
到達目標（前期）	ダイアトニックコード（マイナー）と様々なコード進行について考えます。またコードのボイス方法や転調の方法について理解を深める。
到達目標（後期）	モードのスケールを理解する。アレンジ法や作曲法を使い、思いつきだけでなく楽曲が組み立てられるように目指していきます。
授業方法	音楽理論の講義をし演習問題を解きます。音楽理論を使った楽曲制作を行います。
実践的教育の内容	音楽音楽理論を使った楽曲制作をし、コード（和音）の音と響きとコード進行を確認していきます。実際に曲を作っていくことにより、音楽理論の知識をよりいっそう深めていきます。理論の問題を実際に解いたり、習得した知識を使って楽曲制作を行う
評価方法（前期）	授業内課題70%、提出課題30%
評価方法（後期）	授業内課題70%、提出課題30%
授業外における学修	授業内で制作した楽曲を、より良いものにするためコードやボイス、コード進行などを確認して修正をする。
授業計画（前期）	第1週 ダイアトニックコード（マイナー）1 ナチュラル・マイナーのダイアトニックコードの概念
	第2週 ダイアトニックコード（マイナー）2 ハーモニック/メロディック・マイナーのダイアトニックコードの概念
	第3週 コード進行法1 ダイアトニックコード（マイナー）を使ったコード進行法
	第4週 コード進行法2 ダイアトニックコード（マイナー）を使った制作実習
	第5週 コード進行法3 ドミナント7thの代理コードを使う
	第6週 コード進行法4 モーダルインターチェンジコードについて
	第7週 コード進行法4 モーダルインターチェンジコードを使ったコード進行法
	第8週 コード進行法5 モーダルインターチェンジコードを使った制作実習
	第9週 コードのボイス法1 コードのボイス方法について
	第10週 コードのボイス法2 テンション9thを含むコード
	第11週 コードのボイス法3 テンション13thを含むコード
	第12週 コードのボイス法4 テンション11thを含むコード
	第13週 コードのボイス法5 コードのボイス方法を使って制作実習
	第14週 アレンジ1 調の関係と転調について
	第15週 アレンジ2 転調の方法について
	第16週 アレンジ3 転調する制作実習
	第17週 前期復習 マイナーのダイアトニックコードとアレンジ法を復習

神戸電子専門学校 2019年度シラバス

授業計画（後期）	第18週	モード1 モードについての考え方
	第19週	モード2 メジャー系のモードスケールについて
	第20週	モード3 マイナー系のモードスケールについて
	第21週	モード4 モード曲のコード進行法について
	第22週	モード5 モードを使った制作実習
	第23週	アレンジ4 ペダルポイントとオスティナートについて
	第24週	アレンジ5 ペダルポイントとオスティナートの作り方
	第25週	アレンジ6 ペダルポイントかオスティナートを使った制作実習
	第26週	作曲法1 メロディーの作り方1（基礎）
	第27週	作曲法2 メロディーの作り方2（組み立て方）
	第28週	作曲法3 メロディーの作り方3（応用）
	第29週	作曲法4 カノンについて
	第30週	楽曲制作1 各セクションについて
	第31週	楽曲制作2 楽曲のまとめ方
	第32週	楽曲制作3 各セクションとつないで楽曲にする
	第33週	楽曲制作4 楽曲を仕上げる
	第34週	後期復習 楽曲制作発表
教科書・教材	なし	
参考文献・資料	特になし	
履修上の留意点	特になし	